

# 野田市としての部活動



子供達にスポーツや文化に触れる機会を！  
活動場所を工夫し、チーム作りを後押し  
野田市の各協会や機関、大学と連携して  
地域の人材を積極的に学校へ！



## 国が示す方法で部活動の地域移行を進めると・・・

### ✓想定される課題

- ・生徒指導面などで学校との連携が困難
- ・指導者の確保 ※部活動に積極的な教員は、運動部で32%、文化部で24%
- ・保護者の費用負担（年間）※大会参加費、クラブへの登録、年会費、月会費等で30,000円以上
- ・学校の魅力低下



## 野田市の「部活動の現状」と「強み」

単一校でチームが組める学校は・・・  
学校部活動を継続



学校部活動が生徒、学校にもたらす教育的効果は非常に高いと考える。

現在の部活動を残しながらも、教員と地域人材（指導者）、部活動指導員をマッチングさせながら指導を高めていく。

野田市はスポーツに関わりのある地域人材やチーム（スポーツ少年団等を含む）が豊富

地域人材と教員が連携

地域コーディネーターやスポーツ協会の支援のもと、指導者を学校へ紹介



### 単一校でチームが組めない状況

- ・少子化による部員数減少  
※千葉県資料によると「5年毎に約5%ずつ年少人口低下」
- ・チームが組めない学校数は・・・  
野球（6校） サッカー（5校）  
女子バレーボール（4校）  
バスケットボール（2校）



### 進学先に希望する部活動がない状況

- ・生徒のスポーツに対する興味が多様化している  
例 小学校時代に柔道やバドミントンを行っていたが、中学校には部活動がない
- ・設置校が少ない種目は・・・  
柔道（1校） バドミントン（1校）  
男子バレーボール部（2校）  
ソフトボール（3校） レスリング（3校）

条件が整った学校や部活動で「拠点校部活動・クラブ」の実施を開始

### 拠点校方式クラブに必要なこと

- ✓拠点となる学校長の許可
- ✓学校内での周知
- ✓地域人材と顧問の連携
- ✓クラブの規約作成
- ✓参加生徒の保険加入
- ✓ガイドラインの遵守

市教委が拠点となる学校や指導者へクラブの規約やガイドライン、大会への参加方法をアドバイス



拠点校方式のクラブ例

- ・〇〇中柔道クラブ
- ・〇〇中バドミントンクラブ
- ・〇〇中男子バレーボールクラブ
- ・〇〇中女子バレーボールクラブ

地域人材と協力して学校を拠点とした部活動・クラブを実施



移動は自己責任  
参加生徒の保険加入は必須！



在籍校に希望する部活動が無く、参加を希望する生徒

部活動はあるが、単一校でチームが組めない学校

今まで大会に合同チームで参加していた生徒（他市を含む）

部活動と拠点校方式クラブが併存 → 魅力ある学校へ！  
誰でもやりたいスポーツができる環境を！

### 東京理科大学との連携について

令和5年度は、ソフトボールクリニック、小学生向けの「からだサイエンス」、小学校での水泳授業支援、各種文化講座での支援をいただきました。令和6年度も学校を通じて案内等をする予定です。



学校教育部指導課

☎ 7123-1329

278-8550 野田市鶴奉7番地の1  
野田市役所内 教育委員会